

教育長メッセージ ～今年度の「終わり」と「次への始まり」に向けて～

(令和6年2月26日)

＜保護者、市民の皆様へ＞

日頃は、本市の教育推進にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。

令和5年度のまとめの月となりました。市内学校（園）の卒業（園）式が、徳島市立高等学校では3月1日（金曜日）、中学校では3月8日（金曜日）、小学校では3月14日（木曜日）、幼稚園では3月15日（金曜日）に行われます。また、3月22日（金曜日）には修了式を迎えます。子どもたちにとって卒業（園）式・修了式は、区切りとしての「終わり」と「次への始まり」でもあります。区切りを迎えるにあたり、これまでを振り返ると、コロナ禍の3年間は、生活が一変し、日常の当たり前が奪い去られる日々を過ごした幼児・児童・生徒の皆さんは、改めて、当たり前に関わり合える喜びをより強く感じる経験をし、たくさんのことを学び、成長したことと思います。

保護者・地域の皆様方には、これまで、制限のある各種行事・活動を含め、本市教育活動にご理解、ご支援いただきましたことに改めてお礼申しあげます。

令和6年の始まりとなる元日に能登半島地震、2日には航空機事故と、衝撃的な災害や事故が相次いで起こりました。1月のメッセージで「地震の復旧や救済に対し、今何ができるか考えたい。そして皆さんにも考えてほしい。」と伝えましたが、その後、学校（園）・生徒会・行政等、様々な立場で、備えや対応の検討を含め、義援金やボランティア派遣等、支援の輪が広がっています。

これからの社会を生き抜く「生きる力」を育むためには、社会で起こる出来事を、自分ごととして捉え、考え、気づきや学びを深めること。そして、他者との対話や協働、物事を柔軟に、前向きに考えるたくましさ等が重要となります。コロナ禍の経験や災害への対応が、様々な気づきや学びをもたらし、子どもたちの次へのステップに繋がることを願いつつ、本市教育活動においても、自然災害や事故対応を含め、幼児・児童・生徒の学力・体力向上・豊かな心の育成において、更なる工夫と充実に努めて参りたいと思います。

「次への始まり」に向け、3月5日（火曜日）・6日（水曜日）には、公立高校一般選抜入試が行われます。新型コロナウイルス・インフルエンザの流行も、まだまだ心配ですが、引き続き、ご家庭でもお子様の健康観察を重視していただき、今年度の「終わり」と「次への始まり」に幸多きことを願っております。

徳島市教育委員会 教育長 松本賢治